

まいどさん

足寄町商工会青年部

H29.9.1 No.173

経営研修委員会 庄司

☆青年部インタビューリレー☆

第2回は武藤憲司さんです。



プロフィール

有限会社ムトウ自動車 専務取締役

武藤憲司（むとうけんじ）

1980年 武藤家1女2男 末っ子として生まれる

1998年 足寄高校卒業

2002年 札幌学院大学 経済学部経済学科卒業

2002~2005年 札幌セイビのリュツー勤務（民間整備工場）

2005~2014年 釧路トヨタ自動車（株）勤務

2014年 （有）ムトウ自動車入社

ー経歴を教えてください。

足寄高校卒業後、家業を継ぐのも選択肢の一つでしたが、大学進学を決意。いろんな職業を体験したくて大学時代はアルバイトをたくさんしました。餃子のチェーン店から始まり、ガラス工場、レンタカー会社、クレジットカード会社、電気設備会社、モデルの仕事、ロシア船から冷凍の鮭を積み下ろしする仕事なんかもやりました。大学3年の頃から就職活動を始めますが、人事の担当者や周囲の友達から聞こえてくる話は基本給がいくら、休日はどのくらいある、退職金はあるかなど条件や待遇の事ばかりで、小さな頃から間近で見てきた父親の「何のために」が伝わってくる働き方がすごく格好良く見えました。

最終的に家業を継ぐ事を決め、父親に相談したところ「まっすぐ帰って来るんじゃないくて、他で修行してこい」と言われ、札幌で3店舗展開する大きな整備工場を勧められました。その代表者はムトウ自動車が加盟しているロータスクラブの北海道ブロック長をやっていて、人格的にも素晴らしく、人を育てる事にすごく情熱を注ぐ方だと聞きました。代表者の方と面談のアポを取り、会いに行きましたが、残念だけど今はスタッフの募集はしてないと断られました。僕は諦めきれず「給料はいりません。ここで修行させてください」と自分の

想いを伝え、社会人としての第一歩目は給料無しでスタートを切りました。整備・板金フロントとして3年間働かせてもらい（半年後からは社員となりお給料も頂けました）、営業や販売の勉強もしたくて帯広のトヨタディーラーで約10年間働き、2014年に足寄町に戻り家業に入りました。

—ムトウ自動車に入社して感じた事はありますか。

今年で創業45年を迎え、30年以上勤務する社員も数人います。父親やベテラン社員は「昔は工具も自分で作ったんだ」と、工具だけじゃなく工場や倉庫も自分たちで建ててしまします。どうやったら使いやすくなるか試行錯誤し行動する事で技術力が磨かれるんだと思います。車の修理もそうで他の工場で断るような難作業も、なんだか楽しそうに相談しながら直していきます。朝は社員全員で事務所や工場、周辺を掃除し、毎日の朝礼では当番が順番に本を読み感想を発表する。父親は花の絵を描いたお礼状を送り、感謝の気持ちを伝える。雪が降れば夜中の3時に出社して近所や神社、交番などを除雪する。レッカーは「究極の人助け」と24時間365日出動できる体制にしている。経営の「バトン」を受け取った時、その重圧に潰れそうになりましたが、今はこの会社のかじ取りが出来ることを誇りに思い、純粋にこの会社が大好きです。時代の変化と共に変わらなければならない事もありますが、変えちゃいけないものがムトウ自動車にはたくさんありそうです。

—従業員がいる中で家族経営・お兄さんとの兄弟経営をうまくやっていく秘訣を教えてください。

少し家族の事に触れますが、兄とは趣味や価値観が合うので、2人でマラソン大会に出たり、キャンプをしたり、沖縄旅行したりと小さい頃から血の繋がった友達のような感覚で接しています。僕の妻と兄の奥さんも元々友達で、兄に紹介して2年前に結婚。仲良しの友達が家族になりました。そんな事もあって1階に僕ら、2階に兄家族が暮らす兄弟の2世帯住宅を建てました。そのすぐ横には両親が住む実家があり3世帯住宅みたいな感じです(笑)。一緒に住む。一緒に働く。一緒に悩む。そして一緒に親の面倒を見る。あえてこの形にしました。

父親から兄と僕と会社の敷地内に住んでいる従兄（いとこ）の3人で経営の「バトン」を受け取りました。兄は整備、従兄は板金塗装、僕は販売をメインにこれまでやってきており、得意分野がかぶらないし苦手な部分を3人で補える事が大きいと思います。僕は兄弟プラス従兄経営の方がいろいろ相談出来るし心強いです。役員だけでなく今年還暦を迎えた

ホントに真面目な営業マンや、器用で神の手と思える技術を持った板金塗装職人など尊敬するベテラン社員も支えてくれますし、保育所の頃からの親友も働いているので、いろいろ相談にのってくれます。経営の秘訣はまだわかりませんが、がむしゃらに頑張っているとみんなが助けてくれる気がします。素直さや謙虚さを忘れずに、社員や家族を大事に、しっかり足元を見ながら成長していきたいです。

ーものづくり補助金の採択おめでとうございます。どのような取組み内容なのでしょう。

商工会青年部に入部してこの補助金の存在を知りました。ざっくりいうと小規模事業者や中小企業が対象で、生産性の向上を盛り込んだ申請書を提出し、採択されると、国からお金がもらえるというものです。商工会主催の「後継者育成塾」に参加してこの補助金の内容を詳しく知り、この補助金を本気で獲得しようとする若手経営者に会い強く刺激を受けました。足寄町商工会が支援機関となって指導員の前崎さんに協力してもらいながら、ものづくり補助金に挑戦し、3度目の申請で採択を受けることが出来ました。

申請の内容は、水性塗料対応塗装乾燥ブースの導入というものです。事故車の修理の最終工程に外装を塗装しますが、塗料の中に環境負荷成分が入っており自動車業界においても大きな課題になっています。ヨーロッパの環境基準はとても厳しく、もう10年以上前から環境に配慮した水性塗料の使用を義務づけていますが、日本ではようやくトヨタ自動車やマツダが新車の塗装に水性塗料を使用するようになりました。しかし、事故車などの最終工程に使用する塗料はディーラーも含め、まだまだ環境負荷成分が入っている油性塗料の使用が一般的です。この足寄町の小さな工場が、自動車業界・地域に先行して環境に配慮した水性塗料を使用し、環境問題や作業環境の改善に取り組む意味は大きいと思います。人を想い、工場と地域の事を真剣に考え、この塗装乾燥ブースの導入を決めました。



ものづくり補助金で導入した塗装乾燥ブース

ムトウ自動車をどんな会社になりたいですか？5年後・10年後・20年後の展望をお聞かせください。

ハイブリッドカーが誕生して20年が経ち、当初特別だったものがスタンダードになりました。今現在、電気自動車や燃料電池車（水素）などはまだまだ特別ですが、近い将来スタンダードになりそうです。自動ブレーキ、自動運転はますます進歩し自動車は電装品の塊になっていきます。直近3年間で電装部門を立ち上げ、電気のスペシャリストを育成していきたいと考えています。同時に高度なコンピューター診断機の導入も必要です。また今後、高度な技術が必要とされる一級整備士資格や技術コンテスト出場などに積極的にチャレンジし、技術力を目に見える形で発信していきたいと考えています。時代の流れに柔軟に対応するとともに、大事にしたいのは「今」です。その積み重ねが10年、20年です。帯広ではなくこの足寄町で、車の販売、整備、車検、板金塗装、レッカー、保険、レンタカー、買取と車に関することをトータルでサポート出来る体制を続けること。雇用を守ること。税金を納めること。目の前のお客様が喜んでくれること。そしてこの会社の良い風習を続ける事が創業以来、地域に支えられて成長してきたムトウ自動車の地域貢献かなと思います。また、僕と同じように父親の背中に魅せられた社員が退職するときに良い会社に勤められたと思える会社を目指し、「今」をがむしゃらに頑張ります。

事業概要

名称 有限会社ムトウ自動車
代表 武藤喜光（よしみつ）
住所 足寄郡足寄町南3条4丁目2
電話番号 0156-25-2578
事業内容 自動車の販売、整備、車検、板金
塗装、レッカー、保険、買取
創業 1972年9月



次回予告

次回のインタビューリレーは木村祥悟さんです。お楽しみに！